

2017年11月13日

たねと食とひと@フォーラム 御中

昭和産業株式会社
品質保証部



拝啓 ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は弊社製品をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、この度ご依頼いただきました件につきまして、下記の通り報告申し上げます。

敬具

記

お問合せ製品名： 昭和キャノーラ油、昭和サラダ油、ヘルシープレミア

1. 公開質問状について

別紙の通りご報告申し上げます。

以上

公開質問状に対する回答

「食用油の原材料について」

質問① 1997年より遺伝子組み換え不分別原材料を使用していますか。

回答) 1997年から使用しております。

質問② 貴社製品原材料の種類と原産国、遺伝子組み換えの不分別状況についてお答えください。下記に昨年度の公開質問時の回答が記されています。変更点があれば、お書き添えください。

商品名	原材料名	原産国	遺伝子組み換え
キャノーラ油	なたね油	カナダ、オーストラリア他	分別・ <input type="checkbox"/> 不分別
サラダ油ハンディ	なたね油	カナダ、オーストラリア他	分別・ <input type="checkbox"/> 不分別
	大豆油	アメリカ、南米他	分別・ <input type="checkbox"/> 不分別
ヘルシープレミア キャノーラ油	なたね油	カナダ、オーストラリア他	分別・ <input type="checkbox"/> 不分別
	ビタミンE		分別・不分別

回答) 変更ございません。原料の生産国は原料事情により変更する場合があります。

質問③ 産地農場から輸出港、輸入港、貴社工場までの原材料の管理・輸送方法についてお教えてください。

回答) 農家で生産された原材料は、地域の集積所、港湾のサイロを經由し、貨物船にバラ積み輸送され、当社の製造工場に隣接したサイロに入庫します。

質問④ 遺伝子組み換え原材料を使用している製品に関して、今後遺伝子組み換えでないものに変更する予定はありますか。予定の有無とともに、その理由もお答えください。

回答) 製品の安定供給のための原材料の安定調達が困難であると考えており、非遺伝子組み換えの原材料に変更する予定はありません。

質問⑤ 現在、食用油については遺伝子組み換えに関する表示義務はありません。今後、検出精度の向上によりDNAの検出が可能になった場合、商品本体に表示を行う予定はありますか。

回答) その時の関連法令に基づいて適正に対応します。

質問⑥ 消費者の中には、遺伝子組み換えでない原材料を求める声もあります。今後、遺伝子組み換えでない原材料の製品を供給するためには、どのような課題があるとお考えですか。

回答) 製品の安定供給のための原材料の安定調達が困難な点だと考えます。

質問⑦ 不分別の原材料を輸入される場合、IP ハンドリング（分別生産流通管理）を行われていますか。行われていない場合、例えば未承認の遺伝子組み換え作物が混入した等、製品に事故があった場合、どこでどのように混入したか、原因究明が必要と思いますが、どのような対策をとられていますか。

回答) 不分別の原材料は、IP ハンドリングは行っておりません。万一未承認の遺伝子組み換え作物が混入した等の製品事故が発生した場合は、官公庁の指示に従って迅速な行動をとるような社内基準を設定しております。